

『こころをつよくすることば』

159
Ta,59

武田双雲／著
日本出版社／出版
2012年2月／刊
資料コード／115073405

言葉本来の姿を見つめて。

書道家・武田双雲があなたに贈る、人生を導く言葉です。筆一本で字を表現する書道家が見出した、字のもつ力、言葉本来の姿とは？ 普段、よく使う言葉でも、字の成り立ちを見つめ、意味を読み解けば、深い心が込められていることに気づきます。喜怒哀楽を表現した書と共に、日本語のもつ言葉の力を伝えます。

『戦場のタクト』

戦地で生まれた、奇跡の管弦楽団』

1762.1
Y,53

柳澤寿男／著
実業之日本社／出版
2012年2月／刊
資料コード／115075103

共栄の願いをタクトに込めて。

多くの民族が共存してきたバルカン半島では民族間紛争が絶えず、“多民族で音楽をするという喜び”が封じられてきました。日本人でありながら、この地で民族共栄のオーケストラを指揮した柳澤寿男。危険の只中で出逢った人々、生々しい悲しみの記憶、音楽共存への強い想い。夢の実現を辿った記録です。

『12の贈り物』

東日本大震災支援岩手県在住作家自選短編集』

F
J,95

道又力／編
有限会社 荒蝦夷／出版
2011年8月／刊
資料コード／115078016

岩手が育てた作家が一同に！

岩手県在住の12人の作家が自ら選んだ短編小説を、一冊の本にまとめています。時代小説、ミステリー小説、恋愛小説にファンタジーなど、時に妖しく、時に物悲しく、時に愛おしく、心を揺さぶる魅力ある作品が揃います。震災支援を担った一冊です。

『毎日がいのちのまつり』

9.4.6
ku,81

草場一壽／著
サンマーク出版／出版
2011年12月／刊
資料コード／115052599

“いのち”ある奇跡を感じて。

絵本「いのちのまつり」シリーズの著者、佐賀市生まれの作家・草場一壽、初のエッセイです。絵の教室での子ども達との交流、絵本誕生のきっかけとなった出来事、人々と繋いだ絆や、心がほっこりするエピソードが語られます。私達の毎日が、奇跡と愛で溢れていることを伝えます。



県立図書館通信



2012.5月16日発行

次号は6月発行予定です。
お問い合わせは、こちらまで...
佐賀県立図書館・図書館ネットワーク担当

『イラストでわかる原発と放射線』

これであなたも大丈夫』

539.6
O,51

大木久光／著
技報堂出版／出版
2012年1月／刊
資料コード／115067829

知識をもって正しい判断を。

東日本大震災によって起こった福島原発事故以降、人々の安全やエネルギー確保問題など、私達と原発を取り巻く環境が改めて見直されています。多くの議論と情報が飛び交う今日、私達はどれだけの正しい知識をもって、この問題を語れるでしょうか。原発と放射線の疑問を解説した本書は易しく知識を学べます。

『羊に名前をつけてしまった少年』

F
H,56

樋口かおり／著
ブロンズ新社／出版
2011年1月／刊
資料コード／115059602

羊に課された“命の役割”とは。

農業高校に進学した主人公。ある日学校の羊舎で、羊の出産に立ち会います。生まれたばかりの愛らしい子羊を育てるうちに、家畜とは割り切れない離れがたい想いが芽生えます…。家畜である羊に迫る残酷な現実で苦悩する少年の姿を通し、生きとし生きるものの生ある意味を問いかける物語です。

『神様 2011』

F
Ka,94

川上弘美／著
講談社／出版
2011年9月／刊
資料コード／115077992

“あのこと”が変えた世界で。

「神様」という短編物語執筆から18年。2011年3月末、震災を受けて「神様2011」という短編が新たに執筆され、両作品が1冊の本に収められました。主人公の“私”と“クマ”が過ごす穏やかな一日。一つの要因がその風景を一変させ、“日常”を塗り変えてしまうという、現実世界の移ろいを描きます。

『悲しみのゴンドラ 増補版』

949.8
Tr,1

T・トランストロム／著
思潮社／出版
2011年11月／刊
資料コード／115043424

北欧の詩の巨匠、魂の詩。

永い詩作の時を経て、2011年ついにノーベル文学賞を受賞した著者。幻想的なその詩の世界は「トランストロムの絵」と評され、人々を魅了し、各国で翻訳、数多くの賞に輝いてきました。右半身不随、失語症の苦を得た後に出版された本書は、日々の風景の中に溶け込んだ光と闇の翳りを繊細に映した詩集です。